

子どもたちに危険を予知する力、危険を回避する力を付けるため

KYT(危険予知トレーニング) に取り組みましょう。

KYTとは、危険のK、予知のY、トレーニングのTをとった『危険予知トレーニング』の略称です。産業界で労働災害を防止するために行われていた方法です。

子ども会や学校においても、活動の中に隠れている「危険」が、事故につながらないようにKYTを推奨しています。

体験活動等の行事を実施する前にKYTによって、子どもたちに危険を予知・回避する力を育み、事故の防止に努めましょう。

1 KYTの意義

事故防止の第1歩は「危険」を知り、あらかじめ安全に対する心構えを持たせることです。現代の子どもたちには、①生活経験や自主的集団活動の不足 ②生活習慣の未定着、生活技術の低下 ③子ども集団での伝承文化の欠落 などの傾向が見られ、「危険予知」「危険回避」能力の面で課題があるといえます。そこで、さまざまな体験に潜む危険を予知し、回避する力を付けていく必要があります。

2 KYTの進め方

(1) 準備

- ア 道具 → グループごと：イラストシート、 模造紙、マジック（2色以上）
全体：掲示板（黒板やホワイトボード）
- イ グループ編成 → 1グループが6～10人がのぞましい。
- ウ 役割分担 → リーダー、記録係を1名ずつ
- エ 話し合い活動上の約束 →
 - ・他の人の意見等を批判しない。
 - ・グループ全員が発言する。（他の人の意見を参考にしてもよい。）

(2) 4ステップの進め方

第1ステップ 「どんな危険がかかっているか」状況をつかむ（危険の発見）

(10～15分)

～メンバーが初見の場合は、自己紹介を行うことが望ましい～

- ア リーダーがイラストシートを示して、状況を読み上げる。
- イ メンバーは示された状況の中において危険の要因を見つけ、発表する。
- ウ 記録係は模造紙に発表内容（要点）を箇条書きにする。

《留意点》

- ・ リーダーは全員に発表させる。時間内にできるだけ多くの発表を促す。
- ・ イラストシートに示された状況の物や自然環境の問題だけでなく、人の行動にも危険な要因の発見を促す。
- ・ 「軍手をしていない」とか、「よそ見をしている」というような危険要因のみを発表させるのではなく、「軍手で熱い飯ごうを触って、火傷をするから危ない」というように「〇〇（要因）だから、××（事故）になる」という発表を促す。

第2ステップ 「これが危険のポイントだ」重点をしぼる（焦点化）

（15分）

- ア 書き出された項目を順に読み上げて確認する。
- イ 特に、重大な事故の可能性のあるもの、メンバーの関心が高いものに◎印を付ける。
（2～3項目に絞り込む）
- ウ ◎印が付いた項目をメンバーで唱和する。（意識の高揚化）
- 《焦点化のポイント》
- ・人間の行動、服装
 - ・用具の問題
 - ・活動場所の状況
 - ・子どもたちの体力、心理 など

《留意点》

イラストシートに描かれた状況を見た子どもたちの意見として、例えば、「安全のために表示板や柵がないからいけない。」「指導者（成人）の姿がないことがいけない。」というような内容が予想される。このような意見はよく考慮された意見なのだが、KYTでは、活動中の状況で、自ら（自分たちで）危険を回避する力をつけることが目標であるため、そのような意見は尊重しながらも、◎印の対象から除いた方が、後のステップにつながりやすい。

第3ステップ 「私ならこうして防ぐ」対策を考える（具体的な対策）

（15分）

- ア ◎印を付けた重要な危険要因として、「予防するため」には、一人一人がどうしたらよいかを考える。
- イ 「私ならこうしよう」「こうすることが必要だ」など、実行ができる対策を考えさせ、発表させる。
- ウ 1つの◎印（重要な危険要因）に、2～3の対策を考えさせて、「グループとしてこうすべきだ」という共通の行動内容（対策）を考えさせる。

第4ステップ 「私たちはこうする」実行目標を確認する（全員の行動目標を策定）

（15分）

- ア グループとして「必ずしなければならないこと」を重点目標として、赤色の◎印をつける。
- イ 赤色の◎印は1～2個程度として、その項目をスローガン化して、行動目標とする。「△△を□□して、××しよう」というような形式にさせる。
- ウ グループの行動目標を全員で唱和する

《留意点》

・ 子どもたちが唱和しやすいスローガン設定は大切であるが、ユニークな表現や個性的な言葉が入るとその箇所が強く印象に残り、具体的な行動の印象が薄れる傾向がある。具体的に実践する行動内容が強調されるスローガン作りの工夫を助言する。

例)「周囲を片付けながらの炊さん活動、おいしいごはんをいただきま～す！」

→ 「かまどのまわりに気をつけて、軍手をつけてごはんを炊こう」

※ 各ステップの（時間）設定は、集団の状況や日程によって工夫（変更）してもかまいません。

※ イラストシートは、各市町教育委員会にお問い合わせください。また、中学校では、イラストシート以外に活動場所の写真等を示して、隠れている危険を探す方法も考えられます。